

(1) 計算書類

① 貸借対照表

平成 30 年 3 月 31 日 現 在

(単位 円)

資 産 の 部	本年度末	前年度末	増 減
固 定 資 産	238,245,874	236,055,279	2,190,595
有 形 固 定 資 産	140,027,913	141,878,959	△ 1,851,046
特 定 資 産	7,522,150	7,654,000	△ 131,850
そ の 他 の 固 定 資 産	90,695,811	86,522,320	4,173,491
流 動 資 産	197,440,946	187,545,053	9,895,893
(うち 現 金 預 金)	195,882,385	187,277,583	8,604,802
合 計	435,686,820	423,600,332	12,086,488

負 債 の 部	本年度末	前年度末	増 減
固 定 負 債	7,522,150	7,654,000	△ 131,850
流 動 負 債	8,741,567	7,807,602	933,965
純 資 産 の 部	419,423,103	408,138,730	11,284,373
基 本 金	243,144,454	241,875,878	1,268,576
繰 越 収 支 差 額	176,278,649	166,262,852	10,015,797
合 計	435,686,820	423,600,332	12,086,488

② 収支計算書

1. 資金収支計算書

(単位 円)

収 入 の 部	平成 29 年度	平成 28 年度
学生生徒等納付金収入	18,292,430	21,590,300
手数料収入	335,000	495,000
寄付金収入	0	442,000
補助金収入	81,442,200	75,175,100
資産売却収入	0	0
付随事業・収益事業収入	22,027,130	19,765,152
受取利息・配当金収入	70,869	15,228
雑収入	2,394,316	1,129,842
借入金等収入	0	0
前受金収入	6,394,710	6,894,450
その他の収入	3,871,744	4,466,832
資金収入調整勘定	△ 8,426,781	△ 6,082,720
前年度繰越支払資金	187,277,583	175,599,937
収入の部合計	313,679,201	299,491,121

支 出 の 部	平成 29 年度	平成 28 年度
人件費支出	69,769,616	66,299,105
教育研究経費支出	14,125,430	14,765,012
管理経費支出	24,594,130	22,849,097
借入金等利息支出	0	0
借入金等返済支出	0	0
施設関係支出	0	0
設備関係支出	3,069,200	384,000
資産運用支出	4,041,641	3,979,200
その他の支出	4,477,166	4,843,029
資金支出調整勘定	△ 2,280,367	△ 905,905
次年度繰越支払資金	195,882,385	187,277,583
支出の部合計	313,679,201	299,491,121

2. 事業活動収支計算書

教育活動収支

(単位 円)

事業活動収入の部	平成 29 年度	平成 28 年度
学生生徒等納付金	18,292,430	21,590,300
手数料	335,000	495,000
寄付金	0	442,000
補助金	81,442,200	75,175,100
資産売却収入	0	0
付随事業収入	22,027,130	19,765,152
雑収入	2,526,166	1,336,342
教育活動収入計	124,622,926	118,803,894

事業活動支出の部	平成 29 年度	平成 28 年度
人件費	69,769,616	66,299,105
教育研究経費	18,337,721	19,089,443
管理経費	25,201,283	23,603,471
徴収不能額	0	0
教育活動支出計	113,308,620	108,992,019

教育活動外収支

事業活動収入の部	平成 29 年度	平成 28 年度
受取利息・配当金	70,869	15,228
その他の教育活動外収入	0	0
教育活動外収入計	70,869	15,228

事業活動支出の部	平成 29 年度	平成 28 年度
借入金等利息	0	0
その他の教育活動外支出	0	0
教育活動外支出計	0	0

特別収支

事業活動収入の部	平成 29 年度	平成 28 年度
資産売却差額	0	0
その他の特別収入	0	0
特別収入計	0	0

事業活動支出の部	平成 29 年度	平成 28 年度
資産処分差額	100,802	14
その他の特別支出	0	0
特別支出計	100,802	14

	平成 29 年度	平成 28 年度
基本金組入前当年度収支差	11,284,373	9,827,089
基本金組入額合計	△ 1,268,576	0
当年度収支差額	10,015,797	9,827,089
前年度繰越収支差額	166,262,852	156,381,322
基本金取崩額	0	54,441
翌年度繰越収支差額	176,278,649	166,262,852

財 産 目 録

1. 資 産 総 額	435,686,820 円
I 固 定 資 産	238,245,874 円
II 流 動 資 産	197,440,946 円
2. 負 債 総 額	16,263,717 円
I 固 定 負 債	7,522,150 円
II 流 動 負 債	8,741,567 円
3. 正 味 財 産 (1-2)	419,423,103 円

内 訳

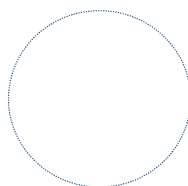
1. 資 産 総 額	435,686,820 円
I 固 定 資 産	238,245,874 円
土 地	113,109,565 円
建 物	9,238,212 円
構 築 物	3,669,619 円
教育研究用機器備品	11,327,429 円
管 理 用 機 器 備 品	2,683,083 円
車 輜	5 円
退職給与引当特定資産	7,522,150 円
借 地 権	7,959,000 円
出 資 金	20,000 円
保 険 積 立 金	82,695,411 円
リ サ イ ク ル 料	21,400 円
II 流 動 資 産	197,440,946 円
現 金 預 金	195,882,385 円
未 収 入 金	1,558,561 円
2. 負 債 総 額	16,263,717 円
I 固 定 負 債	7,522,150 円
退 職 給 与 引 当 金	7,522,150 円
II 流 動 負 債	8,741,567 円
未 払 金	2,280,367 円
前 受 金	6,394,710 円
預 り 金	66,490 円

上記は平成 30 年 3 月 31 日現在における当学校法人の財産目録である。

平成 30 年 5 月 26 日

学 校 法 人 川 久 保 学 園

理 事 長 川 久 保 眞 里 子



事業報告書

平成29年度

平成29年4月1日から
平成30年3月31日まで

1. 法人の概要

- (1) 名称：学校法人 川久保学園【平成1年4月1日法人設立】
- (2) 住所等：大阪府大阪市生野区中川3丁目7番18号
電話番号 06-6751-6660
ファックス 06-6752-4893
- (3) 設置する学校
学校の名称：中川幼稚園 (平成29年5月1日現在)
定員：245名
実員：187名
- (4) 理事長氏名：川久保 眞里子
理事 6人、監事 2人、評議員 12人 定例理事会年3回開催
- (5) 教職員の状況 (今年度末時点)
教職員数 18人 新規採用者 1人 退職者 3人

2. 事業の概要 (平成29年度中川幼稚園)

(1) 教育方針

仏様を拝む明るくて豊かな心を持った子供
「ありがとう」と素直に喜びを表せる子供
よく聞く態度と理解力、想像力を持った子供
健康で、心身共に活動的な子供
お友達と仲良く遊び、相手の気持ちの分かる子供

(2) 学年、定員、実員 (内訳) 学級数 (平成29年5月1日現在)

年 度	学級数	3 歳 児	学級数	4 歳 児	学級数	5 歳 児	計
定 員	2	70	2	70	3	105	245
実 員	3	75	3	58	2	54	187

(3) 保育時間

- ・月～金曜日：午前9時 ～ 午後2時20分
- ・第2、第4土曜日休園

(4) 保育料及び諸経費

- ・保育料： 19,500円/月 (234,000円/年)
減免規定 なし
- ・暖房費： 3,500円/月
- ・給食費： 円/月 (1食280円) 月により変動
- ・園バス維持費： 3,000円/月 (利用者のみ)

・保護者会費： 150円／月

(5) 入園時の費用

・入園料： 25,000円

・施設設備費： 15,000円

減免規定 あり

(6) 預かり保育

・月～金曜日：午前7時30分～午後6時30分まで

・土曜日：午前7時30分～午後3時30分まで

・長期休業中の預かり保育 あり (夏・冬・春)

(7) 行事の実施状況

・4月／始業式、入園式(保護者同伴)

・5月／花祭り、避難訓練、内科歯科検診

・6月／保護者参観日、園外保育、人形劇観劇、宿泊保育

・7月／プール開き、納涼大会、終業式

・8月／夏休み

・9月／始業式、避難訓練、公開保育

・10月／運動会、生野まつり、お芋掘り

・11月／避難訓練、園外保育、絵画制作展

・12月／クリスマス会、餅つき、終業式、冬休み

・1月／始業式、園内発表会

・2月／節分豆まき、生活発表会

・3月／ひなまつり会、園外保育、卒園式(保護者同伴)、終了式

(8) 計画等の進捗状況等

当年度以前の計画はない

監査報告書

平成30年 5月 12日

学校法人 川久保学園

理事会・評議員会 御中

学校法人 川久保学園

監事(山下 義博) _____ 印

監事(松田実千代) _____ 印

私たちは、学校法人川久保学園の監事として私立学校法第37条第3項及び
寄付行為第16条に基づいて同学園の平成29年度（平成29年4月1日から
平成30年3月31日まで）における計算書類及び理事の業務執行状況につい
て監査を行いました。

監査の結果、私たちは同学園の業務及び財産の状況に関して不正の行為又は
法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は認められませんでした。

また、財務に関する計算書類は学校法人会計基準に準拠しており、学校法人
川久保学園の平成30年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する
会計年度の経営状況を適正に表示しているものと認めます。

(注) 監事山下好博及び松田実千代とも私立学校法第38条第5項に定める
外部監事であります。

自己評価結果公表シート

(平成29年度)

学校法人 川久保学園

中川幼稚園

当園では、幼稚園の運営状況・財務状況等について幼稚園関係者だけでなく、さらに広く一般に公開する体制を整えてまいりました。これに関連して、幼稚園学校評価(自己評価・学校関係者評価)を実施してまいりました。実施に当たり教職員一人ひとりが、自らの行動や幼稚園の状況についてしっかりと振り返り、園児のために何をすべきかを検討し、これからの自身および幼稚園について、見つめなおすいい機会となりました。

まだまだ至らない点があるかと思いますが、今後さらに評価方法を整備し、継続して実施することによりさらに精度の高い情報公開ができるよう努めたい。

1. 本園の教育方針及び教育目標

教育方針

- ・いつも明るく いつも正しく いつも仲良く
- ・ほとけさまを拝む明るくて豊かな心を持った子ども
- ・「ありがとう」と素直に喜びを表せる子ども
- ・よく聞く態度と理解力、想像力をもった子ども
- ・健康で心身ともに活動的な子ども
- ・お友だちと仲良く遊び、相手の気持ちの分かる子ども

教育目標

- ・丈夫な体をつくる。
- ・自分のことは自分でする。最後までやりとおす。人に迷惑をかけない。
- ・よく見て、よく聞いて、よく考える。
- ・きまりをよく守る。
- ・人にやさしくする。

2. 平成29年度 重点的に取り組む目標・計画

今年度も、前年度実施した学校評価における反省項目を踏まえ、引き続き「教職員の育成」「園内環境の整備」「保護者とのコミュニケーション」「周辺地域との連携」を継続課題とし、重点的に取り組んだ。

3. 評価項目及び取組状況

評価項目	取組状況	
教職員の育成に努める	A	研修会へ積極的に参加し、この研修会で得た情報をいかに共有するかを課題として取り組んだ結果、翌日の朝礼において研修会での内容を発表し、さらにレポートを提出することによって、全教職員がお互いに情報を共有することができた。 今年度も継続して実施し、教員の育成に努めてきた。
園内環境の整備	A	園舎老朽化にともない耐震工事を現在検討している。今後それ以外の環境の整備にも積極的に努めたていきたい。
保護者とのコミュニケーション	B	保護者とのコミュニケーション不足によるトラブルの対策・改善等について、今年度も保護者とのコミュニケーションを積極的に行うことを意識してきた。
周辺地域との連携	B	子ども子育て新制度について当園でも移行すべきかを研修会への参加や周辺の幼稚園の動向を参考にしながら検討した結果、平成31年度を目処に移行する方向で考えている。そのために地域の機関や団体との連携を強化しスムーズに移行できるように取り組んでいく。

【評価の基準】 A:十分達成 B:達成 C:成果が不十分 D:取組が不十分

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

保護者とのコミュニケーション意識をし、挨拶だけでなく一言添えたり、言葉遣いの改善等取り組んできたが、今後も引き続き重点的に取り組み続ける必要がある。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具 体 的 な 取 り 組 み 方 法
教職員の資質の向上への取り組み	今年度末で3名の教員が退職することとなった。今年度までのように、先輩の先生が新人を育てるにはどうすべきかを再考し、また新たに採用される先生自身もどういった資質が必要とされているのかを理解してもらうことを課題として取り組んでいきたい。 今後さらなる資質の向上を図っていけるように工夫する。
保護者アンケートの実施検討	これまで保護者アンケートの実施を検討してきたが、まだ実施にまで至っていない。保護者の意見を幅広く取り入れるためにもアンケートの実施内容を具体化したい。
幼小との連携活動の充実	横のつながりだけではなく小学校との交流を深め、幼稚園から小学校への入学をスムーズに移行できる形を構築したい。

6. 学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められる。

7. 財務状況

公認会計士の監査を受け、適正に運営されていると認められている。

学校関係者評価委員名簿

(平成 29 年度)

学校法人 川久保学園
中川幼稚園

氏名	住所	連絡先	所属等
井戸 朋子	大阪市生野区新今里3-18-18	06-6756-5843	中川幼稚園 副園長
谷口 源樹	大阪市生野区勝山北3-11-8	06-6717-0080	地域住民(保護者)
長谷川 哲也	大阪市生野区桃谷5-12-10	06-6716-2690	地域住民(保護者)
中 静 寛	東大阪市高井田本通7-1-14	06-6781-2321	株式会社 フレーベル館
松村 栄和	大阪市生野区巽北9-14-29	06-6752-0601	眞野 株式会社
中山 哲妙	奈良県大和高田市曾大根493	0745-52-2114	宗教法人 大阪善光寺